

第二回「秋田藩士の日記を読む」

○「岡本元朝日記十六」(混架七・三八〇・一六)

元禄十六年(一七〇三)正月十四日の条

【原文】

○しんせき追ふに雪を
出月やちやうくふんふちやうき
いふと町に海を貝を
吹く将軍追ふに
由所外町にやね外町に町を
か

【解読文】

○今晚鳥追二候へ共、雪無之
火用心あやうく候故、火ヲ立候事無用ニ
いたし候へと町々へ申渡候、尤貝など
吹候て悴子共遊候儀くるしからず候と、
内町外町へふれ候、外町八町奉行より
為申渡候

○「岡本元朝日記三十一」(混架七・三八〇・三一)

く宝永二年(一七〇五)三月三日の条く

【原文】

一日てきよし風少吹、今日節句之御ひるな御
祝儀、毎御姫様、御菓子盆三十枚箱入・御重一組、拙者
利根川留守中、山手及、おれども去月申上
候とこ

【解説文】

一三日天気よし風少吹、○今日節句之御ひるな御
祝儀二両御姫様へ、御菓子盆三十枚箱入・御重一組、拙者
利根川留守中に内膳殿へ御頼申候而、去月廿七日に
指上候也

○「岡本元朝日記三」(混架七・三八〇・三)

元禄十年(一六九七)八月十五日の条

【原文】

御座ノ間ニテ御月見御はやしあり、是今日
江戸地うたいノ長左衛門御見舞下る、今晚御目見
直々御はやし地うたい被 仰付故也、一、弓やはた
次、三輪・三、しようぐ 其後だしへ御出御料理
あり九ツ以後御暇今夜中月晴ル

【解説文】

御座ノ間ニテ御月見御はやしあり、是今日
江戸地うたいノ長左衛門御見舞下る、今晚御目見
直々御はやし地うたい被 仰付故也、一、弓やはた
次、三輪・三、しようぐ 其後だしへ御出御料理
あり九ツ以後御暇今夜中月晴ル